

必ずお読みください

B3FH-A514-01-00

お使いになるうえでの注意事項について

本紙以外にも、本パソコンをお使いになる上で留意していただきたいことが、添付の『お使いになるうえでの注意事項』に記載されています。本紙とあわせてご覧ください。

PCMCIA カードについて

● PC Card タイプの外付け CD-ROM ドライブ (FMV-NCD401, FMV-NCD402) やその他のオプションによっては、接続した状態で Windows98 が正常に終了できなくなることがあります。以下の手順で設定を行うことによって設定後は正常に終了できるようになります。なお本設定を一度行うと以降は設定する必要がありません。但しリカバリ (パソコンをご購入時の状態に戻す) を行った場合は、再度以下の設定を行う必要があります。

1. キーボードの「Ctrl」キーの位置を確認した後、パソコン本体の電源を入れます。
2. 「FUJITSU」のロゴマークが表示されたら「Ctrl」キーを押し続けます。
3. 画面左上に「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されたら、「Ctrl」キーを離し、カーソルキー (「↓」キー) を押して「3.Safe mode」を反転表示させ、「Enter」キーを押します。
4. 約 30 秒後に画面の四隅に「Safe モード」と表示された画面があらわれます。「デスクトップ」と書かれたウインドウの「OK」をクリックします。
5. 画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
6. 「システム」と書かれているアイコンをクリックすると「システムのプロパティ」と書かれたウインドウが表示されます、その中の「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
7. スクロールバーを画面下方向にドラッグすると「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」があらわれます、その「ユニバーサルシリアルコントローラ」をダブルクリックし、次に「Intel (r) 82440MX USB Universal Host Controller」をダブルクリックします。
8. 「Intel(r) 82440MX USB Universal Host Controller のプロパティ」ウインドウの「リソース」タブをクリックします。
9. 「手動設定」をクリックします。
10. 「自動設定を使う」の左にある□をクリックしてチェックを外し、「I/O の範囲」をクリックして反転表示させてから「設定の変更」をクリックします。
11. 「I/O 範囲の編集」ウインドウで、値(V): の中の数値が「1600-161F」になるように値(V): の右側の矢印をクリックして調整し、「OK」をクリックします。
12. 次に「リソース」タブの中の「割り込み要求」をクリックして反転表示させてから「設定の変更」をクリックします。
13. 「割り込み要求の編集」ウインドウで、値(V): の中の数値が「09」になるように値(V): の右側の矢印をクリックして調整し、「OK」をクリックします。
14. 次に「Intel(r) 82440MX USB Universal Host Controller のプロパティ」ウインドウの「OK」をクリックし、「変更不可の環境設定の作成」ウインドウが表示されますので「はい」をクリックします。
15. 「システム設定の変更」ウインドウで「はい」をクリックし Windows を終了させます。
16. 再度パソコンが起動し、Windows98 が起動します。(Windows98 が起動するまで約 2～3 分かかります。)
17. 画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
18. 「システム」と書かれているアイコンをクリックすると「システムのプロパティ」と書かれたウインドウが表示されます、その中の「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
19. 「モデム」をダブルクリックし、「Fujitsu SOFT PDC」をダブルクリックします。
20. 「Fujitsu SOFT PDC のプロパティ」ウインドウの「リソース」タブをクリックします。
21. 「自動設定を使う」の左にある□をクリックしてチェックを外し、基にする設定(B): の「基本設定 0000」をクリックし、カーソルキー (「↓」キー) を押して「基本設定 0004」に変更します。
22. 「設定の変更」をクリックし、「I/O 範囲の編集」ウインドウで、値(V): の中の数値が「0100-0107」になるように値(V): の右側の矢印をクリックして調整し、「OK」をクリックします。
23. 次に「Fujitsu SOFT PDC のプロパティ」ウインドウの「OK」をクリックし、「変更不可の環境設定の作成」ウインドウが表示されますので「はい」をクリックします。
24. 「閉じる」をクリックし「システムのプロパティ」を閉じます。

Intellisync について

● Intellisync を起動した状態で本パソコンのサスペンド/Save to Disk は行わないください。レジューム後に Intellisync の接続ができなくなります。再び Intellisync にて接続する場合は本パソコンの再起動をおこなってください。

タッチパネルについて

- 本パソコンのご購入時には、ペンでタッチした位置とマウスポインタの位置がずれていることがあります。また、画面の解像度を変更した時も、タッチした位置とマウスポインタの位置がずれてしまいます。[スタート メニュー]—[プログラム]—[タッチパネル キャリブレーション]を実行してタッチパネルを調整して下さい。添付のマニュアル『本体&オプションガイド』の「タッチパネルの調整のしかた」(P.40 参照)に従い、調整を行なってください。
- 画面の解像度を 1024×768 ドットにした場合、マウスカーソルの位置がパネルをタッチした位置とずれてしまいます。解像度 1024×768 ドットの設定でマウスポインタを移動させる場合はクイックポイントⅢをお使いください。
- Windows を Safe モードで動作させた場合、タッチパネルは正常に動作しません。この場合は、クイックポイントⅢをお使い下さい。
- 本パソコンでタッチパネルを使用する場合はタッチパネル ドライバ「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」以外の PS/2 ドライバは使用しないでください。

Windows NT4.0 について

- 本パソコンでは、Windows98 のほかに、Windows NT4.0 をサポートしています。しかし Windows NT4.0 での携帯電話接続ケーブルを使用しての通信はご利用になれませんので予めご了承ください。

クイックポイントⅢの操作について

- クイックポイントⅢをわずかに傾けた状態で、数秒間ゆっくり動かしているとき、逆方向にマウスポインタが動くことがあります。故障ではありません。そのときは、マウスポインタが停止するまでお待ちください。
- 本パソコンで携帯電話を使用して通信を行なう場合、携帯電話の電波によってマウスカーソルが動くことがあります。この様な時は携帯電話をクイックポイントⅢから多少離してご使用ください。

ゲームをお使いになる場合の注意

- Windows の DOS プロンプトを使用するゲームにおいて、音楽（効果音）の設定は IRQ9 に設定してください。またゲームによっては音楽（効果音）が出力されない場合があります。

ドライバのアップデートについて

- 「アプリケーション CD」に最新版のドライバが入っています。通常はドライバをアップデートする必要はありませんが、次のような場合のみ、ドライバをアップデートしてお使いください。アップデートの手順については、「アプリケーション CD」の「Update」フォルダにある「README.TXT」をご覧ください。赤外線通信機能をお使いになる場合で、データ転送がうまく行われない場合、赤外線ドライバをアップデートしてお使いください。
※ドライバの名称：SMC IrCC NDIS 5.0 IrDA FIR Device Driver V2.28.0.0